

## 十勝川の河川事業により17万 $m^3$ の河道掘削土を提供し、 被災農地の災害復旧を支援

帯広開発建設部では、十勝川の洪水氾濫を未然に防ぐ対策として河道掘削を実施しています。

昨年8月の一連の台風災害の影響により表土流出等の被害があった十勝川流域の農地に対する災害復旧支援として、昨年12月15日から十勝川の河道掘削土の提供を行ってきましたが、2月16日までに今年度に予定していた17万 $m^3$ 分の運搬(ダンプトラック約3万1千台分)を実施しました。

昨年の北海道においては、8月17日から31日までの2週間に3つの台風が上陸、1つの台風の接近により道東を中心に記録的な大雨となり、十勝川流域の農地では、表土流出などの大きな被害が発生しました。

帯広開発建設部では、河川整備計画等に基づき、十勝川の洪水氾濫を未然に防ぐ対策として、河道掘削を実施しているところですが、今回被災した農地の迅速な災害復旧を図ることを目的として、帯広市、清水町、芽室町、十勝総合振興局、関係するJA、帯広開発建設部などを構成員とする「平成28年度大雨災害に係る農地の災害復旧工事と河川工事との十勝地方連絡調整会議」が開催され、河川工事などにより発生する土砂の提供などについて協議を行いました。

帯広開発建設部では、同会議に基づき調整が図られた農地に対し、昨年12月15日から河道掘削土の提供を行ってきましたが、平成29年2月16日をもって今年度に予定していた17万 $m^3$ (ダンプトラック約3万1千台分)の運搬が完了しましたのでお知らせいたします。

来年度においても、十勝川では「北海道緊急治水対策プロジェクト」の一環として河道掘削を推進していく予定であり、引き続き同会議において関係者と調整し、河道掘削土の提供など被災農地の早期復旧を支援してまいります。

※プロジェクトの詳細は、以下のURL から御参照ください。

「北海道緊急治水対策プロジェクト」

<http://www.ob.hkd.mlit.go.jp/hp/osirase/press/pdf/chisui28032.pdf>

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部  
池田河川事務所 所長 小原 義博 電話 015-572-2661 (代表)  
副所長 鈴木 健治



# 十勝川における河道掘削土の運搬について (1)

## 【十勝地方における取組】

○十勝川流域の農地では、平成28年8月の洪水などによって表土流出などの大きな被害が発生。これら農地の迅速な災害復旧を図るため、帯広市、清水町、芽室町、十勝総合振興局、関係するJA、帯広開発建設部などを構成員とする「平成28年度大雨災害に係る農地の災害復旧工事と河川工事との十勝地方連絡調整会議」などを開催されてきたところ。

**帯広開発建設部**では、河川事業による農地の災害復旧支援のため、**十勝川の河道掘削土を運搬し提供**。

**芽室町(12月15日から)、帯広市(12月19日から)、清水町(12月26日から)へ河道掘削土を運搬**。

### 【運搬置土場所】

清水町 2月15日終了

### 【運搬土砂量】

3万m<sup>3</sup>

### ・合計運搬土砂量

(帯広市・芽室町・清水町) 17万m<sup>3</sup>

### ・農家戸数 78戸

### ・ダンプトラック換算台数

3万1千台

### 【河道掘削箇所】

幕別町新川・豊頃町統内・池田町川合

### 【運搬置土場所】

帯広市 2月16日終了

### 【運搬土砂量】

7万m<sup>3</sup>

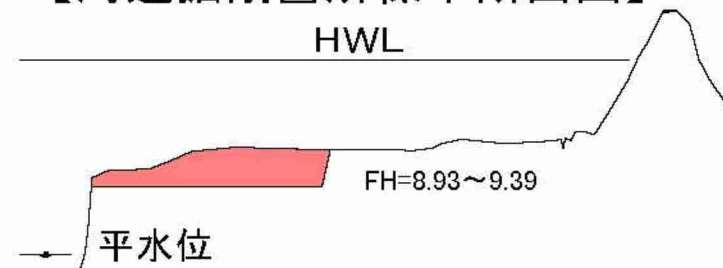
### 【運搬置土場所】

芽室町 2月2日終了

### 【運搬土砂量】

7万m<sup>3</sup>

### 【河道掘削箇所標準断面図】





# 十勝川における河道掘削土の運搬について (2)



農地復旧前:芽室町



河道掘削状況



運搬状況



農地復旧後:芽室町



積み卸し状況

## 【土砂運搬状況】

- ・運搬車両はピーク時に、1日最大350台。
- ・運搬車両の前面には横幕を張り、災害復旧を支援。

土砂運搬車両  
北海道開発局 帯広開発建設部  
**災害支援対策**  
池田河川事務所 運搬協議会

## 【地元農家のご意見】

(十勝総合振興局南部耕地出張所を通じて聴取)

- ・実際に土が運ばれてくる様子を見て、復興が進んでいることを実感できている。
- ・土が無ければ営農が始まらないので、農地を復旧できる土が確保されて助かった。